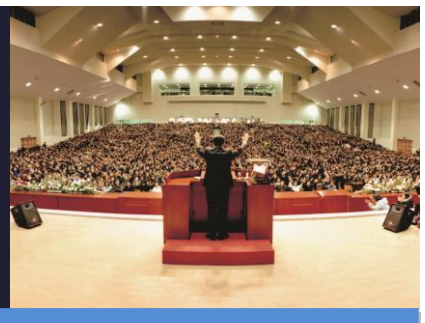
第 2019-31 号

恵みと真理のニュース



2019 年 08 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

イエス様を信じた後、神様が奇跡のようなことを多く経験してくださいます

私は姑のおかげで教会に行くようになってイエス様を信じるようになりました。姑が１０１歳に亡くなる２が月前に私の夢に現れて兄弟たちみんなを集めて黄色い封筒をくれました。封筒の中を見たら木で作られた十字架が入っていました。朝に奇異な夢を見てすぐ、イエス様を信じて恵と真理教会に通っている娘に電話をかけて夢の話をしました。そうしたら、娘が“お母さん、これからイエス様を信じて神様に礼拝する生活をするときになったのです。神様がお母さんをお呼びしています。一緒に教会に行きましょう。と勧めました。今までは娘が伝道しても“一人で教会に通いなさい。”と言いましたが、その時から、娘と一緒に教会に通い信仰生活をはじめました。
このように感謝することは　イエス様を信じた後に、まだ、祈りもどうすればいいのかわからなかったごろにも神様は私にさまざまな奇跡の事を経験してくださいました。
国内にある大手企業に就職して会社からも認められて昇進もして誠実に勤務した二番目の息子が飲酒による問題で早期退職をするようになりました。性品は真面目な息子でした。私の力では息子の酒を飲むのを辞めさせませんでした。ところが、私がイエス様を信じてから息子が一朝にして酒を辞めました。それだけでなく私が教会に通ったまもなく旦那も“私も教会に行ってみたい。”と言い一緒に通い主を仕えるようになりました。奇跡のような事でした。また、私が座骨神経痛が酷くて主日礼拝の時に腰が熱くなる感じがしましたが、礼拝の後、全く痛みがなくなりました。そしていつも痛かった左の膝の痛みもなくなりました。主日の礼拝の神癒の祝福祈りの時間に当会長の牧師が祈ってくださるとき、膝に手をおいて“アーメン！と答えて治った癒しの体験をしました。ハレルヤ！私を救ってくださった恵みだけでも感謝ですが、このようにイエス様を信じたすぐ神様が様々な奇跡のようなことを経験するようにして信仰生活の喜びが充満になるようにしてくださいました。
わたしに孫たちがいますが、二番目の息子が生んだ娘が警察試験を受けて最終合格者の発表の前に私の夢で警察服を着て挨拶をしました。それで、合格することを待っていた私に二番目の息子が私が見た夢とは違って合格が難しそうだと言いました。息子には夢の話はしなくて次の試験は神様が出すけて下さって良い結果が出るだろうと慰めて電話を切りました。どころが、息子と電話を終わってからすぐ孫から直接に合格したと電話が来ました。神様の素晴らしい希望と期待を捨てなくて私はどんな状況でも落胆しなくて不平もしなくて期待と希望を捨てない私と孫の信仰をご覧になって神様が共に出すけて下さったので心が限りなく喜んで感謝でした。
長男の息子が幼い時から韓国語と外国語を自ら勉強が出来て知恵ある面をみて私と息子の夫婦の期待が大きかったです。ところが小学校４年生になると性格が変わりました。学校に行かなくて家だけで過ごそうとして、人々とも対話が出来ないくらい姿を見せました。適切な治療の方法を探せなく私たちは神様の助けを求めました。すべての家族がそのこのため家にいるだけでなく外出でもしなさいと奇跡が起こることを願って祈りました。
どころが、この孫が最近になって一日二回づつ外に出て公園を散歩して帰ってくる驚くなことが起きました。神様が治療してくださるのを信じて神様に栄光を捧げます。神様の恵みでこの子の痛みがきれいに治ってこのことが後で人々に大きい恵みになる証になるのを願います。子供が健康になって主のことに献身して神様の喜びになる子供として用いられるのを願い祈ります。私を知っている多くの方々が私を見て幸せに見えると羨ましがっています。しかし、今日私が確実に知るのはこの喜びと幸せは自ら作られないことでまた、世のどんなことでも得られないのです。これは神様が私の心にくださる平安な福を下さったので私の顔がいつも明るくて喜びが溢れることを知って、感謝して生きて行きます。
こんな私ですが、私の心に願いがあります。もっと早く主を信じて祈りの生活、礼拝の生活、伝道の生活をしたらよかっただろうかと思われます。福音を聞くすべての方々が早くイエス様を受け入れ私のように神様の恵みと愛の中でこのような神霊な喜びと感謝を感じて生きることを願います。ハレルヤ！

［信仰コラム］　救いを受けさせる信仰

”...信じて，言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。それは，信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。”（ペテロ第二の手紙 1:8、9）

人は必ず死ぬだけではなく、死んだ後には審判を受けます。その審判とは地獄刑罰を受けることを言います。人が全世界をもうけても魂が救いを得られないと彼が得た全世界がその魂には何の意味がありません。従って、人に最も急務なのは魂が救いを得ることです。救いの真理に対しては完全な知識を持つべきの理由がここにあります。救いを受けるために私達が確実に知るべきことを三部分に分類して調べてみます。
第一は、全ての人が罪人になり死に至った縁由を知るべきです。
神様が人を創造なさいエデンの園に置かれ、治められ守らせました。神様が人に”あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると，きっと死ぬであろう”と命令なさいました。しかし、サタンの誘惑に陥ったエバが善悪の実を取って食べてしまい、アダムにもあげてアダムも食べました。そうしてアダムとエバは神様の命令を逆らった犯罪者になりました。ローマ書 5 章 12 節に”このようなわけで，　ひとりの 人によって，　罪がこの 世にはいり，　また 罪によって 死がはいってきたように”と記録されています。
被造物である人は創造主神様に仕えることが存在の理由であり、目的であります。しかし、神様と対等になろうとして神様の命令に逆らい、善悪の実を食べました。その日の以降、罪性を持った人間は神様中心ではない人間中心で全てのことを計画して推進しながら生きていきます。人は彼が生まれて罪を犯すので罪人になったのではなく、罪人として生まれて罪性を持っているので罪を犯して人本主義で生きていきます。救いを受けるために先に知るべきことは人は神様の前で罪人であり、罪人は死亡と地獄刑罰を受けるという事実です。
第二は、神様が施される贖いの恵みを知るべきです。
人がとこしえの命を得て地獄刑罰を受けないためには正しくならなければなりません。正しくなることで神様に仕えることができ、神様中心に生きるようになります。しかし、人は自分のいかなる行為でも正しくなることができません。それで神様が罪人達が正しくなる道を備えられました。その道がイエスキリストであります。神様は罪人を救おうと一人子をこの世にお送りなさいました。乙女の体に聖霊として産れ、この世にお越しになった一人子イエス様は罪人達の罪を担われて十字架に釘つけられる刑罰を受け地を流して死なれ、三日目に蘇られました。そうして誰でもイエスキリストを信じると正しくなり、救いを得るようになさいました。これが贖いの恵みです。イエスキリストを自分の救い主に信じる者ごとに贖いの恵みで罪の許しを受けます。とこしえの命を得て、天国に入ります。
第三は、救いを受けさせる信仰を持たなければなりません。
救いを受けさせる信仰を持つと、その信仰に相応して一致する行いが従うようになります。ヤコブの手紙 2 章には行いのない信仰に関して二つの例を挙げて説明しました。行いのない信仰とは中身のない有名無実なことです。神様に仕えないながら神様の存在に対する信仰だけを持っているのは鬼が持った信仰と違いがない無益な信仰です。
その後、行いのある信仰に関してアブラハムと遊女ラハブ二人の例えを挙げて説明しました。アブラハムが神様の言約を疑いなしに信じたということはイサクを捧げ物として捧げなさいという神様の命令通りに行動したことで証明されました。イスラエル人々が仕える神様に対する噂を聞いて神様を信じるようになったラハブは宿屋に来たイスラエルの回し者の二人が捕まえられないように隠してあげて、彼らの約束通りに行ったことでエリコが崩れる時に救いを得ました。行いが随伴されるべきの場合に行いがないと、その信仰は死んだ信仰です。
イエスキリストを自分の救い主として信じるその信仰が真実であるなら、いかなる艱難と逼迫と誘惑と試しが迫っても信仰の節を折りません。礼拝するのを楽しみます。福音を述べ伝えて、主のことに励み善のことに励むようになります。善で正しくて真実な方に立って行います。福音を混雑にさせる言行をしません。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

神と正しい関係に起因する福と恵み

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

新約聖書のヘブル人への手紙 1 章に**「神は，むかしは，預言者たちにより， いろいろな時に， いろいろな 方法で， 先祖たちに 語られたが， この 終りの 時には， 御子によって， わたしたちに 語られたのである． 神は 御子を 万物の 相續者と 定め， また，御子によって， もろもろの 世界を 造られた．」（ヘブル人への手紙 1：1,2）**と記録されています。神を指して「おっしゃる神様」と呼ばれました。神が人生に与えられる言葉を預言者と使徒たちが記録しました。そして、私たちが聖書を持つのができるようになりました。神の言葉は、命令と約束とになっています。

今日の本文は、聖書のすべての命令との約束の中に核をまとめたもののような言葉です。神の命令と約束は人が神と正しい関係を持つようにしようとくださったのです。神との関係が正しくなると、神様が与えられる祝福と恵みを受けるようになります。
今日は、どんなにするのが神と正しい関係を持つのかとそれゆえに祝福と恵みが何なのかを見てみましょう。神との正しい関係を有する者が誰なのかを本文に三つで要約しました。

第一は、神を愛する者であるとしました。

神を愛するには、2 つの要素があります。受けるものと差し上げるのです。神が人生を愛しておられることについて ヨハネの第一の手紙 4 章に記録されることを**「わたしたちが 神を愛したのではなく， 神がわたしたちを 愛して 下さって， わたしたちの 罪のためにあがないの 供え 物として， 御子をおつかわしになった． ここに 愛がある」（ヨハネの第一の手紙 4：10）**しました。イエスご自身が言われた、**「神はそのひとり 子を 賜わったほどに， この 世を 愛して 下さった． それは御子を 信じる 者がひとりも 滅びないで，永遠の 命を 得るためである」（ヨハネによる福音書 3:16）**しました。したがって、神を愛する者になるためには、まず、イエス・キリストを自分の救い主として信じて受け入れなければなりません。
神を愛するもう一つの要素があります。それは私たちを愛してくださった神様に感謝と喜びを積極的に表現することです。神を愛する人は、神にたくさん差し上げたい心が切実です。神を愛する人は、常に神を考えています。神を愛する人は、神を喜びたいと思います。食べるにも、飲むにも、何をしても、神の栄光を考えながら、去っても残すでも主を喜びたいと思いをします。神を愛する人は、神の愛について話すのを楽しく思います。創造主であり、あがない主である神について話すのをしたくなります。人生を愛して、イエス・キリストを遣わされた神について話すのが伝道です。イエス・キリストを遣わして、私たちを救ってくださった神様の愛を喜んで受け入れて享受して私たちを愛してくださった神様に感謝と喜びを積極的に表現する人は、神との正しい関係になります。

第二には、神の名前を知っている者としました。

神の名前を知ることは、神が誰であるかを知っている言葉と同じです。神の啓示がなければ、誰も神を知ることができません。神が言われた「私はお自らのある者」としました。「お自らの者」という名前は、神の自存性と永遠性と絶対性を示す自己啓示です。新約に来ては、イエス・キリストを通して神が明らかになりました。そして、私たちが神を「イエス・キリストの神」と呼ぶようになりました。
イエスの弟子ピリポが**「主よ， わたしたちに父を 示して 下さい」**と言うと、**「イエス は彼に 言われた， 「ピリポ よ， こんなに 長くあなたがたと 一緒にいるのに， わたしがわかっていないのか． わたしを 見た 者は，父を 見たのである． どうして， わたしたちに 父を 示してほしいと， 言うのか． わたしが 父におり， 父がわたしにおられることをあなたは 信じないのか． わたしがあなたがたに 話している 言葉は， 自分から 話しているのではない． 父がわたしのうちにおられて， みわざをなさっているのである」（ヨハネによる福音書 14：9,10）。**ですから、イエス・キリストを知っている人は、父なる神を知っている人になることができます。神が誰なのかを知るのが神との正しい関係になります。

第三には、神に求めている者としました。

神に祈る人は、神への期待と希望を持って生きていきます。神は言われた**「わたしを呼べわたしは、あなた答え、あなたの知らない大いなる事を、あなたに見せわたしに 呼び 求めよ，そうすれば， わたしはあなたに 答える． そしてあなたの 知らない 大きな 隠されている事を， あなたに 示す．よう」（エレミヤ書 33：3）**しました。神に祈る人は謙虚な人です。神の助けと祝福を受けずには勝利と幸福の人生を生きていくことができないことを認めるので祈ります。神に祈る人は、信仰の人です。神の答えを信じる信仰を持ったので、祈ります。神に祈る人は、神と交わり付き会うことを喜ぶ人です。祈りは、神との霊的交わりをするための最良の手段です。神に祈りを楽しく人は、神との正しい関係の中にいる人です。

次は、神と正しい関係にある者に与えられる祝福と恵み 5 つが本文に記録されています。

第一に、私はあなたがたを救われしました。

深い穴に落ちた人は、自らの力では抜け出せません。このように人が自分では生活の虚無と無意味の沼地、罪と呪いと滅亡の呪いから抜け出せません。人間の手段と方法は、さらに状態を悪化させるだけです。神を愛すると、これらのことから救われます。神が手を伸ばして救ってくださいます。イエス・キリストは、私たちを救う神の手です。**「 ふたりが 言った， 「主イエス を 信じなさい． そうしたら， あなたもあなたの 家族も 救われます」（使徒行傳 16:31）**。イエス・キリストを信じて、神を愛する人は誰でも罪と呪いと滅亡の深い穴から救われます。

第二に、私はあなたがたを高めろうとしました。

人は本来、神様の形状と形に造られました。神様から誉れと力を与えました。土地を征服し、すべての生き物を支配する地位にありました。しかし、アダムが罪を犯したのでサタンのしもべになってしまいました。これらの人生に神が自分を明らかに啓示して神の名前を知ることなりました。神は神の名前を知っている者、アダムが失ってしまった地位と権威よりも高めてくれます。神の子どもとなる特権を与えました。聖徒、神の義の子、王のような祭司、天国の市民という栄光の地位と権威を与えました。したがって、聖徒たちは、神が高めくださった尊い身分と地位にふさわしく生きて行かねばなりません。

第三に、私は答えであげようしました。

神は、全知し 全能であり信実です。したがって、神に求めている者は、応答を期待しても良いです。神は求めている人に最善の答えを与えてくださいます。イエス言われた **「 求めよ，そうすれば， 与えられるであろう． 捜せ，そうすれば， 見いだすであろう． 門をたたけ， そうすれば， あけてもらえるであろう．すべて 求める 者は 得， 捜す 者は 見いだし， 門をたたく 者はあけてもらえるからである． このように， あなたがたは 悪い 者であっても， 自分の 子供には， 良い 贈り物をすることを 知っているとすれば， 天にいますあなたがたの 父はなおさら， 求めてくる 者に 良いものを 下さらないことがあろうか」（マタイによる福音書 7：7,8,11）**しました。私たちがあらゆる求めることや考えていることにより多いと十分にするかた」としました。

第四は、試練の時に私はあなたと一緒にしてあなたを救う栄えてあげようしました。

世の中には、患難がないところがありません。患難時、神は私たちを離れていませんし、むしろより近くしてくださいます。だから聖徒は苦しみ時に孤独ずこわくありません。苦難時固く握らなければならない約束の言葉があります。**「恐れてはならない， わたしはあなたと 共にいる． 驚いてはならない， わたしはあなたの 神である． わたしはあなたを 強くし，あなたを 助け， わが 勝利の 右の 手をもって， あなたをささえる」（イザヤ書 41:10）。**神が約束するのを試練から救い出してくださっ見せかけてくださったとしました。 **「たとい わたしは 死の 陰の 谷を 歩むとも， わざわいを 恐れません． あなたがわたしと 共におられるからです． あなたのむちと， あなたのつえはわたしを 慰めます． あなたはわたしの 敵の 前で， わたしの 前に 宴を 設け，わたしのこうべに 油をそそがれる． わたしの 杯はあふれます」（詩 23：4,5）**

第五、私が長寿ことで私を満足させて私の救いに示そうしました。

究極の幸せのために約束しました。ここで、「長寿」とは天国で永遠に生きることを言います。続いて「私の救いで見せよう」しました。神の救いを見る日は救いの完成を見る日です。復活して変化した栄光の体で新しいエルサレムで主の栄光を見るようになる日です。

愛する聖徒の皆さんは、日増しに神を愛し、神の名前を知っており、神に求めている深さが加えられるのを願います。そして、この世を生きている間、神が救う高めにして応答を受けるし苦難時に一緒におられるのを見せかけれる祝福と恵みをお楽しみください。そして将来救いの完成を見ては、栄光な体で天国で永遠に満足した生活を生きて行かれることを願っております。